

NEWSLETTER No.61

編集・発行 甲南英文学会事務局
〒658-8501
神戸市東灘区岡本 8-9-1
甲南大学文学部英語英米文学科気付
メール：els@konan-u.ac.jp
ウェブ：http://www.konan-u.ac.jp/~els
発行日 2017年8月30日

1 甲南英文学会総会・研究発表会・講演会報告

総会

2017年7月8日（土）午後1時から第33回甲南英文学会総会が開催されました。神原由紀子氏を議長に選出し、以下の議題が審議されました。

・2016年度収支決算報告

横山三鶴氏による16年度収支決算の報告の後、山口徳一氏により決算報告が適正であることが報告されました。特に会員からの質問もなく、承認されました。

・2017年度予算案

水本有紀氏より、17年度予算案について説明があり、異議なく承認されました。

・規約改正

1: 評議員の廃止

福島彰利氏より、ここ数年新会員の増加は微々たるものであると同時に、退会される会員が多くなっていることで評議員を選出するための3ブロックの境界線が曖昧になっていることから、評議員の選出が難しくなっている現状が説明されました。また福田稔前会長からは、ここ数年は評議員の役員会への参加があまりないことも補足的に説明がありました。現在の会員規模を考えても、役員として評議員を置く必要性が低まっていることから、役員会からの提案として評議員の廃止が発議され、承認されました。

2: 投稿規程の改正

中谷健太郎編集委員長より、『甲南英文学』の編集作業を簡便化することを目的に、論文提出原稿をA4サイズからA5サイズに変更することと、これまで原稿はプリントアウトしたものを郵送することが必須であったものをPDFによる電子ファイルの提出に変えること等が提案され、承認されました。なお、新たな投稿規程は来年度から有効となりますので、今年度の原稿提出は従来通りとなります。

（新投稿規程は『甲南英文学』次号に掲載予定です。）

・甲南大学機関リポジトリ登録

大森義彦会長より、平成27年に規定された「甲南大学機関リポジトリ」に『甲南英文学』に掲載された論文を同リポジトリに登録してはどうかとの打診が大学図書館からあったことが説明されました。そもそも論文は公開されることが前提であることから、甲南英文学会としても掲載論文を登録する方向で考えたいとの提案がなされ、承認されました。なお、論文の登録については各執筆者の同意が必要となることから、とりあえず過去10年間の執筆者に対して登録の可否をお伺いするという作業を始めることとなります。

編集委員会報告

中谷健太郎編集委員長より、『甲南英文学』32号が無事発行されたことが報告されました。今号には英米文学分野から1本、英語学分野から2本の論文が掲載されています。今後特に英米文学分野からの投稿が増えることを期待しています。

研究発表

[英語学]

司会：福田稔（宮崎公立大学）

1 「オノマトペ副詞と時間副詞の相互作用からみるアспект解釈」

志田祥子（甲南大学大学院修士課程）

青木奈律乃（甲南大学大学院博士課程）

中谷健太郎（甲南大学）

司会：中谷健太郎（甲南大学）

2 'Raiding the Inarticulate': An Introduction

Nigel. G. Duffield（甲南大学）

[英米文学・文化]

司会：中島俊郎（甲南大学）

1 「Imitation と Inspiration — Alexander Pope とラテン詩」

山口徳一（甲南大学非常勤講師）

司会：水本有紀（甲南大学非常勤講師）

2 「ハワイの婦人参政権運動ーその重層的な意味合ー」

安武留美（甲南大学）

講演会

司会：中井誠一（島根大学）

「バートルビーの鏡」

青山義孝（甲南大学）

講演要旨： 今回の講演は、本年度を最後に甲南大学を定年退職なさる青山義孝先生に講師をお願いした。ハーマン・メルビルの小品「バートルビー」をとりあげ、そのなかでの「鏡」をテーマにしたお話しであった。“I would prefer not to...”と言いつけて壁を見るだけのバートルビーであるが、壁の手前には窓ガラスがあり、またその窓ガラスの向こうには貯水槽のような空間があり、彼が見ているのは単なる壁ではなく水鏡であり「生の幻」であることを示していると解釈・分析なさった。しかし先生のお話しはバートルビーにも、ご専門の19世紀アメリカ文学にも限定されることはなかった。スーパーマンとクラーク・ケントの髪型の違いから始まって古代中国の黄帝伝説、ギリシャ神話のナルシス、フランス中世文学『薔薇物語』、川端康成の『雪国』、フレーザーの『金枝篇』、聖書、プラトン、ジョン・ダン等々、「鏡」「鏡像」に関するさまざまな文献・資料が縦横無尽に援用され、聴衆は先生のまさにもくるめく博識と分析の鋭さ深さに圧倒された。半世紀近くに及ぶ先生の研究者生活がどのようなものであったかをうかがい知ることのできるご講演であった。

なお、ご講演終了後、今年度を持って定年退職される青山義孝先生と中島俊郎先生に感謝の気持ちを込めて花束の贈呈がありました。

懇親会

今回の懇親会はカフェパンセで行いました。30人ほどの出席者があり、和気藹々とした雰囲気の中、先輩・後輩の枠を超えて旧交を温め合うことができました。

2 編集委員会より

『甲南英文学』33号の発行に向けて、論文、研究ノート、書評を募集します。締め切りは11月30日です。多数のご投稿をお待ちしております。

3 事務局より

・住所、所属等に変更のある方は、お手数ですが事務局までお知らせください。メールでも構いません。

・会費未納の会員は、振替用紙でもって早急に会費を納入して下さるようお願い申し上げます。振込先は以下の通りです。また、今回お送りするものは2015～2017年度の会費に限られておりますが、2014年度までで未納がある場合、お心当たりの会員の方は合わせてお納めください。

■ゆうちょ銀行間の振替

口座番号 01180-6-43378

甲南英文学会

■他金融機関からの振込用口座番号

ゆうちょ銀行 一一九支店 当座 0043378 甲南英文学会

以上